

修了生の活躍

株式会社ダイトコーポレーション
大黒自動車船ターミナル部 横浜船舶課
立花 和樹 さん

港湾職業能力開発短期大学校横浜校
物流情報科 平成19年度卒業



港湾カレッジへの進学が港湾事業に携わる道を作ってくれました。

高校卒業後、一旦就職しましたが、自身に技能を身に付け新たな仕事に就くことを考え、元々出身が横浜なので港が近く、港湾関係の仕事に多くの人々が関わっているイメージがあり、その人材育成を行っている港湾カレッジへの進学を決断しました。

学生時代は、港湾・物流の知識の習得の他、フォークやクレーン等の資格を取得することができました。現在の会社に就職を決めたのは、学生時代から将来はフォアマンになりたいと思っていたことが大きな理由です。

カレッジの資格が非常に役に立ちました。

入社後、私は希望するフォアマンの職種に就くことができました。フォアマンとは、貨物の積み下ろしを行う際の現場監督のような仕事です。自動車の船舶ともなれば、100人程の作業員が働いている中、いかに効率的にかつ安全に積み下ろしを行わせるか、また、外国船の船乗りとの交渉、指示もあり大変な仕事で当初は戸惑うことも多かったですが、先輩、同僚、関連会社の方々のサポートもあり、6年続けることができました。カレッジで取得した資格のおかげで作業時間をおおよそ把握できたことも大きかったです。

将来は、現場のリーダーになりたいと思っています。

フォアマンを6年間勤めた後は、企業出向先でのストウェージプランの作成、積載可否検証員、海外（タイ）での海技者等を経験し、常に現場での仕事に携わってきており、それらを総括できるリーダーとしてやっていければと考えています。

企業での活躍

立花さんの現在の仕事。

現在は、デスクとして現場でのフォアマンのサポート、自動車船荷役の手配や自動車船ターミナルのヤード管理などに従事しています。また、定期的にパトロールを実施し現場の声を吸い上げ働きやすい環境を整えることも重要な職務となります。



上司の声 横浜船舶課長 砂山武士さま

彼は港湾事業者に特化したカレッジでの実習のおかげで、現場で違和感なく仕事に従事しています。

責任感が強く、現職でのお客さまからの信頼も厚く、将来は後輩を育て、当社に貢献できる人材になることを期待します。



株式会社ダイトコーポレーション (東京都港区)

(現在港湾カレッジの修了生12名が活躍)

株式会社ダイトコーポレーションは、首都圏4,000万人の生活を支える「物資」の玄関口である東京湾を中心に、1934年の会社設立以来一貫して、船舶の安全且つ円滑な入出港と、積み降ろしされる貨物の滞りない受渡し等を行う支援を展開している。現場は、大型コンテナ船の荷役作業を行うターミナル、完成車や鉄鋼等の製品や鉄鉱石・石炭・原油等の資源を取り扱う専用埠頭などの港湾施設のほか、港湾周辺での倉庫作業、船舶代理店業務、輸出入通関業務、タグボートのサービスなど多岐に亘る港湾事業を総合的にサポートする事業内容となっている。